

朝日新聞デジタル > 記事

新型コロナ情報 →

apital 医療・医師・介護

欧州ほぼ全域からの入国者、2週間待機を 首相が表明

新型コロナウイルス

2020年3月18日 19時44分

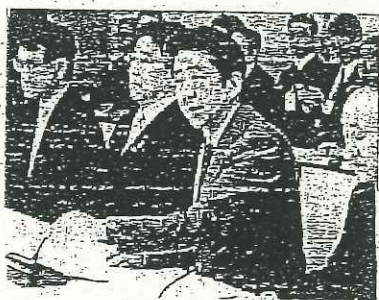
シェア ツイート ブックマーク メール 印刷
list

4/4 23:35時点

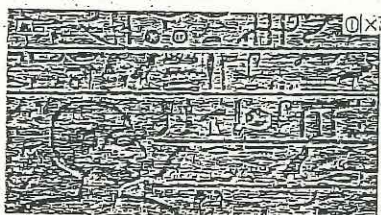
クルーズ船などを除く、厚労省などによる

国内で確認された感染者	3420人
死者	84人
退院者	559人

最新情報 感染者数の推移 ニュースレター登録 手洗いの方法 マスクの自作方法



新型コロナウイルス感染症対策本部の会合で発言する安倍晋三首相（中央右）=2020年3月18日午後6時30分、首相官邸、岩下毅撮影



NHKが報じない189年前の満州 - GHQが恐れたA級戦犯の遺言

riseupjapa...

[PR]

安倍晋三首相は18日、首相官邸で開いた新型コロナウイルス感染症対策本部の会合で、全世界を対象に感染症危険情報「レベル1」を出すことを表明した。「国民の皆さまに地域を問わず、全ての海外への渡航の是非、延期の必要性について注意喚起する」と述べた。

感染症危険情報は4段階あり、レベル4は「退避勧告」で、レベル1は「十分注意してください」とされる。全世界をレベル1とするのは初めて。

首相はまた、新型コロナウイルスの感染が広がる欧州のほぼ全域からの入国制限など、水際対策の強化策も発表した。入国制限を行うのは、セルビアなど東欧の5カ国を除く欧州全域とイラン、エジプトの計38カ国。これらの地域を21日午前0時以降に出発した入国者は、日本人を含め、滞在先のホテルや自宅など検疫所長の指定する場所で2週間待機し、公共交通機関を使用しないよう要請。いずれも4月末までの措置だが、期間は更新できる。20日までに発行されたビザの効力と、ビザの免除措置も停止する。

さらに出入国管理法に基づく入国拒否の対象に、スペインのマドリード州など4

国人は、特段の事情がない限り日本に入国できない。同日持ち回りで開いた国家安全保障会議（NSC）の緊急事態大臣会合で決定した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、電気料金など公共料金の支払いが困難な場合は、支払いを猶予するなど柔軟な対応を関係関係から要請するよう指示した。19日から感染拡大によって影響を受けている分野を中心に、有識者からヒアリングを行うことも明らかにした。